

○北ボルネオで *Mitrastemon* を発見 (冨樫 誠) Makoto TOGASHI:  
*Mitrastemon* sp. found in North Borneo

1966年の9月より10月に北ボルネオの Mt. Kinabalu (Sabah) に植物採集旅行をした。同行者は Singapore の植物園長の G. Alphonso 氏で、同地方の野生蘭の採集が目的であった。好天に恵まれ登頂も出来たし、採集品も豊富であった。偶々出発前に Pacific Science Congress に来て居った University of Cambridge の E. J. H. Corner 教授に会い、此の山の植物其の他の予備知識を得た。同教授は 1961年に Royal Society Expedition の隊長として、Mt. Kinabalu を中心に大がかりな調査を行った。Malaysia は此の地域で、同山を中心にした広い面積を National Park としていて、自然保護が確立して居り、我々も許可を得るは申すまでもない。

この事務所のレンジャーが、Corner 教授の切倒したカシ類が近くに有るからと云って案内された。其の現場は事務所より北の方向で、一度谷に降って 100 m 位登った Mt. Kinabalu 南斜面の Alt. 1500~1600 m の常緑樹林内で、下草は余り生えて居らぬほど暗い場所で、3-4本の叢生したカシ類があり、此の樹がそれだと示された。径 30 cm 位の樹を高さ 1 m 位の所で切られて居た。それは5年前のことであると云う。下枝が高く良い標本は得れなかったので、切株より出た若枝を得たが、葉は対性であり変ったカシ類と考えた。あとで知ったが、それが *Trigonobalanus verticillata* Forman の Type の樹であったがあとのまつり。ところがその根元をなんの気なしで見れば“あっと驚く”ヤッコソウが生えてる。同行者は先行し私唯一人。しめしめで多数を採集した。余り大形でなく、大はヤッコソウの倍位の大いさ、色は稍黒ずんで新鮮さはなかった。其の後 Singapore 植物園の標本室で *Mitrastemon* の標本を調べたが一枚もなかった。それで同標本室に2~3個を寄贈した。此の標本はアルコール漬にして他の貴重な標本と一緒に持帰った。他の大量の標本は船便で発送し、すべて東京大学資料館にある。暫くしてメキシコ大学の松田英二博士に再会して、ボルネオでヤッコソウ類を採集したと話したところ大変に喜ばれ、早速に博士の論文の別刷を下された。On the Genus *Mitrastemon*. Bulletin of the Torrey Botanical Club. 74: No. 2. 133-141. 1947. それによれば未発見のボルネオに此の属の分布予想図が記してあり、この論文発表後約20年後に採集され、是非に其の一部を所望され、すぐにも送る約束をした。ところが何かの手違いで其の標本が他の少しの標本と共にまぎれこみ探せど出てこない。其の後数回の督促があり、最近に其の一部が出て来て、余り好ましい標本ではないがと但し書を付して昨年11月に松田博士のもとへ発送した。